

令和 3 年度（2021 年度）
豊中市市民ホール等
事業報告書

令和 4 年 5 月

豊中市市民ホール等指定管理者

JCD・日本管財・大阪共立グループ

令和3年度（2021年度）豊中市市民ホール等 事業報告書

【目次】

1. はじめに（事業の総括）	2
2. サービスレベル評価項目の目標達成状況について	5
3. 市民ホールの基幹事業に関する業務	6
1）人材育成・ボランティア組織コーディネート事業	6
2）鑑賞事業の企画・実施	8
3）情報提供事業	12
4）相談事業	13
5）「友の会」運営事業	14
6）広報・宣伝事業	14
4. 施設の運営に関する業務	18
貸館事業（施設の提供）	18
1）施設利用状況表	18
2）施設来館者数集計表	19
3）各施設の利用状況について	20
5. 施設及び設備の維持管理に関する業務	21
1）舞台の管理に関する業務	21
2）施設及び設備の維持管理に関する業務	22
3）行政財産の使用について（コミュニケーションロビーならびにビュッフェの活用）	23
4）託児サービス及びキッズルーム	23
6. 運営組織についての報告（職員の研修の取り組みなど）	25
7. 収支報告書	28

1. はじめに（事業の総括）

豊中市市民ホール等指定管理者 JCD・日本管財・大阪共立グループは豊中市より豊中市市民ホール等指定管理者として指定を受け、「豊中市市民ホール等の管理運営に関する基本協定書」、「同年度協定書」及び、「令和 3 年度事業計画書」に基づき、施設の管理運営業務を行った。基本協定書第 25 条の規定に基づき、指定管理者による豊中市市民ホール等の令和 3 年度業務実績を以下の通り報告する。

当年度は、市民ホール指定管理第 2 期の初年度にあたり、新型コロナウイルス感染症に対応しながらも、館のブランド力強化を図る事業を中心に運営を行った。文化芸術事業については、通常年度の 5 割程度の事業規模での計画としたが、2 期を通しての実施とさらなる定着をめざす「人材育成事業」「ビジュアルアーツ事業」「センチュリー豊中名曲シリーズ」に関しては通年で稼働を行った。

各基幹事業の取り組みにあたっては、今年度新たに策定された「豊中市文化芸術推進基本計画」を十分に理解するとともに、指定管理者独自のミッションの達成をめざし、中長期的な視点による事業展開に努めた。

施設運営においては、今期から新たに「伝統芸能館」「市民ギャラリー」の 2 施設を加え、市内文化施設 4 施設を包括的かつ効果的に管理運営することができる体制の構築に努めた。第 1 期運営実績に基づくノウハウをもって、利用者ニーズに即したサービスの提供を行い、市民の安全・安心な施設の提供においても成果を残すことができたと考える。

当年度についても緊急事態宣言にともなう休館対応や貸館利用のキャンセル、公演催事の延期及び中止等が発生し、それらへの対応業務が集中することとなった。国、大阪府、豊中市の基準や関連団体のガイドラインにもとづく措置とあわせて、消毒作業や飛沫対策など館内における感染防止策を徹底し、安全で安心な施設環境の維持に努めた。結果、新型コロナウイルス感染症に関する事故等を発生させることなく、利用者や市民サービスへの影響を最小限にとどめることができた。

施設稼働率については復調の傾向ではあるが、一方で、催事規模の縮小、WEB サービスを用いたオンライン配信、入場者数制限措置等の影響により、年間利用者数については減少傾向となっている。

また、豊中市における SDGs の取り組みとのさらなる連携強化を意図し指定管理者代表企業名で豊中 SDGs パートナー登録を行った。今後は主催事業パンフレットや情報紙「aperitif」への豊中 SDGs パートナーロゴ掲載による周知活動など、4 施設一体となった SDGs 推進の取り組みを図りたい。

文化芸術事業の取り組みでは、人材育成事業「とよなか ARTS ワゴン」のプログラムの見直しにより、さらなる事業内容の充実と成果獲得に努めた。とりわけ、レジデントアーテ

イスト育成プログラムのひとつである小学校へのアウトリーチ事業「ふれアート」は、新規校3校を含む全67回実施し、十分な事業成果を得ることができたと考える。また、アートマネジメント講座をオンラインで実施したことで豊中市外からも多くの参加者を募ることができた。市民アートコーディネーター育成プログラムには引き続き6人が昨年度から参加している。新型コロナウイルス感染症の影響を受け、「とよなかARTSワゴンフェスティバル」は客入れでの公演を中止しオンライン配信へと変更した。各アーティストによる計5本の動画は3,588view数（令和4年3月31日時点）となり、本事業をオンライン配信に切り替えたことで、より多くの方に視聴いただけた。結果、レジデントアーティストの周知にも貢献し、また、事業自体への注目が徐々に高まっていると考える。

広報・宣伝事業では、新たに外部からパブリックリレーションズディレクターを招き、館のブランディングを軸としたさまざまな広報の取り組みについて方向性などを改めて見直し、次年度からは特に公演事業のアーカイブに力を入れていく予定である。

「センチュリー豊中名曲シリーズ」では、チラシ・ポスターデザインの刷新やストーリー性を重視した広報活動など、これまでオーケストラやクラシックコンサートとの接点が少ない市民へのさらなる遡求を意図した取り組みを図った。それらの取り組みが奏功し、新型コロナウイルス感染症の影響下にある中で、年間平均来場者数は、第1期以上の結果となった。

第2期指定管理から始まった「現代アート」「メディアアート」のビジュアルアーツ事業では、豊中を題材とした作品を含む本格展覧会に向けてのプレイベントをそれぞれ実施した。現代アートでは、映像作家でダンサーの吉開奈央、メディアアートはMATHRAXを招聘し、令和4年度にむけて地域リサーチも行った。

緊急事態宣言が発令された時期を除き、その時の新型コロナウイルス感染症対策ガイドラインに則り自主事業は継続して実施した。同年開催されたショパン国際コンクールのコンテストアントとしても話題となった牛田智大のピアノリサイタルをはじめ、文化庁のオーケストラキャラバン事業として東京ニューシティ管弦楽団と東京フィルハーモニー交響楽団が公演を実施するなど、クラシック公演は充実した1年となった。

友の会「club CaT」の運営では、新型コロナウイルス感染症の影響もあり当初から会員の伸び悩みが顕著となった。チケットの先行予約や優待販売だけでなく、入会キャンペーン施策や近隣優待店舗等との連携による優待サービスの拡充、情報誌に近隣優待店舗をまとめたマップを掲載するなど、年間を通じて会員増を図る活動に取り組んだが、会員数の獲得においては、公演の延期中止等が大きく影響し、目標とするサービス水準を達成することができなかった。

施設管理業務においては、昨年度に引き続き各施設とも感染防止策を徹底し、常に市民の快適で安全な利用ができるよう適切な施設管理に努めた。年間を通じて大きな事故やトラブルは発生しておらず、一定の成果を残すことができたと考える。

事業収支及び経営面では、当年度においても収入・支出ともに新型コロナウイルス感染症の影響を受けることとなった。収入の部では施設利用キャンセルや主催事業の延期、中止が相次ぎ、利用料金収入については計画比85.4%、事業収入については計画比76.7%となった。しかし、昨年度の計画対比と比較すると下げ幅は小さく（利用料収入計画比64%、事業収入計画比41%）利用率は戻りつつあると考える。総収入としては計画比94.7%であった。支出の部では昨年度同様に主催事業の延期、中止による事業費の大幅減少及び利用率減少の影響により光熱水費等の維持管理費が減少した。総支出で計画比96.4%となった。

精算の部では、新型コロナウイルス感染拡大防止を理由にキャンセルした際の還付相当額、及び備品費、修繕費、学校減免利用補助金の未執行分を精算した。結果、精算の部を含む市民ホール全体の決算としては、収入額が支出額より若干下回る収支結果となった。

各事業及び業務の取り組み実績については以下に項を分けて報告を行うが、いくつかの計画、項目で目標水準未達など課題を残した。第 2 期指定管理期間が始まり、新たに伝統芸能館及び市民ギャラリーが管理運営対象となった。当年度の実績が 1 つの目安となると考え、成果と課題の検証とともに、計画実施状況について適正に把握することで次年度運営への改善とさらなるサービス水準の維持向上につなげる。

2. サービスレベル評価項目の目標達成状況について

サービスレベル評価項目	要求水準	R3年度目標	R3年度実績	目標達成率
文化芸術センター大ホールの年間平均利用率	70%	70%	71.2%	101.7%
文化芸術センター中ホールの年間平均利用率	70%	70%	56.1%	80.1%
文化芸術センター小ホールの年間平均利用率	70%	70%	92.6%	132.3%
ローズ文化ホールの年間平均利用率	60%	60%	76.8%	128.0%
伝統芸能館の年間平均利用率	70%	70%	79.5%	113.6%
市民ギャラリーの年間平均利用率	60%	60%	67.4%	112.3%
文化芸術センター展示室の年間利用率	60%	60%	64.1%	106.8%
文化芸術センター多目的室の年間利用率	60%	60%	86.8%	144.7%
文化芸術センター、ローズ文化ホールの年間来場者数合計	410,000人	410,000人	240,229人	58.6%
4ホール（文化ホール大ホール・中ホール・小ホール、ローズ文化ホール）で実施する事業の1事業あたりの平均参加率 参加率＝1事業の来場者数/ホール設定席数×100)	50%	50%	66.5%	133.0%
友の会の会員数	1,000人	1,000人	729人	72.9%

※年間平均利用率＝一年度分の利用日数/一年度間の利用可能日数×100

豊中市市民ホール等の指定管理業務開始にあたり設定した「令和 3 年度サービス水準目標」の達成状況について以下の通り確認する。

- ①4 ホール（文化芸術センター大中小、ローズ文化ホール）の年間平均利用率は、**74.2%**（前年 **62.0%**）となり年度目標値を上回る数値となった。ホール別では文化芸術センター小ホールが **92.6%**（前年 **82.0%**）と市要求水準値を大きく超えており、4 ホールで最も高い数値を記録したが、中ホールは **56.1%**（前年 **58.5%**）と目標数値を下回る結果となった。年度当初からの新型コロナウイルス感染症の再流行、まん延防止措置期間の利用控えが原因の 1 つであると考える。当年度から新たに受託した伝統芸能館及び市民ギャラリーについては、伝統芸能館は **79.5%**、市民ギャラリーは **67.4%**と目標数値を上回る結果となった。
- ②展示室、多目的室の利用率は 2 施設平均で **75.5%**（前年 **61.1%**）と、ホール平均利用率と同様に市要求水準を上回る結果となった。施設別では多目的室の利用率が **86.8%**（前

年 66.1%)、展示室の利用率が 64.1% (前年 56.1%) で推移し、各ホール平均利用率の増加と概ね同じ傾向となった。次年度については、展示室や多目的室機能を十分に活かした主催催事での活用のほか、積極的な事業、催事の広報活動の充実を行い、更なる稼働率の向上をめざす。

- ③文化芸術センター及びローズ文化ホールの年間来場者数は 240,229 人 (前年 162,327 人/前年比 147.9%) と、市要求水準を大きく下回る結果となった。減少は新型コロナウイルス感染症の影響によるものであるが、前年比 147.9% と増加傾向ではある。ホール利用平均率ほど伸び悩んだ要因としては各施設の客席収容率制限や催事の無観客開催のほか、利用者の来場控えやホールの活用法の変化などが大きく影響したと考える。
- ④ホール (鑑賞型) 事業の平均参加率は 66.5% と目標水準には到達したが、昨年度 (70.0%) より減少という結果となった。なお、参加率算出の対象事業はホールを会場 (TRANCE MUSIC FESTIVAL 一部公演は展示室、多目的室) とする鑑賞型事業とし、客席設定数は各公演とも新型コロナウイルス感染症の影響による収容率制限後の数値を基準としている。新型コロナウイルス感染症の影響下における市民への芸術文化鑑賞機会の提供において一定の成果につながった。次年度においてはアフターコロナとなりこれまでの制限が解除される見通しであり、幅広いジャンルにおける事業参加率の向上を図っていききたい。
- ⑤友の会年間増加数については、令和 4 年 3 月末で有効会員数が 729 人と市の要求水準未達となった。前年 934 人と比べても減少しており、新型コロナウイルス感染症の影響による事業の中止・延期が大きく関与していると考ええる。次年度以降は広報活動の更なる拡充だけではなく、魅力ある事業を展開・拡充を図ることで、友の会会員数増加に結び付ける必要がある。

3. 市民ホールの基幹事業に関する業務

1) 人材育成・ボランティア組織コーディネート事業

新型コロナウイルス感染症の影響を全面に受けた令和 2 年度をレジデントアーティスト期間としてカウントしない事で、令和 3 年度は 1 期生と 2 期生が引き続き活動した。新規事業としては南部エリアで夏休みの新たなイベントを創り出すことを目的に実施した「たそがれもののけハウス」と、レジデントアーティスト 1 期生によるそれぞれのリサイタル公演を行い、アウトリーチ事業は計 67 回におよぶなど、年間を通して活動の多い事業となった。また、リポート実施となった市民アートコーディネーター育成プログラムでは、アートマネジメント講座から引き続きの参加となった 6 名とともに、4 つの座学プログラムを実施。次年度は、ワークショップ型のプログラムとなる前の導入としての実施が完了した。

前述したアートマネジメント講座は、テーマを「アートとヒトとホールと」に設定し、7 回にわたって実施。当初は来館での座学スタイルを想定していたが、すべてオンライン配信での実施に変更した。内容は「公共と公共性」のトピックで、人が文化芸術を楽しむうえで家庭環境や教育がどれだけ作用しているかという社会学者による調査などを扱う俯瞰的な

視点の内容から、それぞれ音楽家や公共ホールがどのような取り組みをしているのか、そしてアーティストがアウトリーチに対してどのように取り組んできているのかというミニマルな内容まで扱った。

この後の市民アートコーディネーター育成プログラムでは、より地域の中に入っていくプログラムを2年目以降用意しているため、非常に意義深い講座となった。

あわせて、1期生のレジデントアーティスト期間満了に伴い令和4年度から始動する「アーティストバンク」システムについても立ち上げた。

ボランティア組織は、引き続きレセプションボランティアを継続して実施した。公演数も少なくなったことで、活躍の機会は例年よりも少なくなるものだったが、昨年度から活躍していただいている市民が引き続きの参加となった。当初は3期生となるボランティアの募集も検討をしていたが、新型コロナウイルス感染症の影響を鑑み中止とした。

ワークショップ事業・アウトリーチ事業としては、小学校に6年間在籍しているうちに一度はレジデントアーティストのアウトリーチを体験するという目標を設定した。改めてスタートした「とよなかARTSワゴン」事業のひとつ、ブラック・ボトム・ブラス・バンド公演で実施したアウトリーチでは、新規校3校を含む併せて全4回のアウトリーチを行い、「ふれアート」を含めて新規校6校全71回のアウトリーチを実施した。

センチュリー豊中名曲シリーズに向けて事前に実施し、のちに動画配信サービスでも楽しめるように作り変えた「プレパフォーマンス&トーク」は計4回実施。各回趣向をこらし、センチュリー豊中名曲シリーズで演奏される作品に対し多角的な視点で楽しめるように実施した。配信でも公演終了後も見れるようにしており、これまでのプレパフォーマンス&トークよりも多くの方にご覧いただく事ができた。

昨年度まで実施していた「こどもクラシックの日」をより複合的にアート体験ができるイベントに変更した「こどもアートの日」は、新型コロナウイルス感染症の状況が見えない中で公演の規模を考慮し縮小して開催。かわりにプレ事業として0歳からのコンサートを開催した。本コンサートでは、レジデントアーティスト1期生が企画を行った。アーティスト自身が制作に加わることは、人材育成事業の成果であると考え。毎年実施していた針山愛美ダンスプロジェクトは、新型コロナウイルス蔓延防止措置のため中止とした。

新たに運営に加わった伝統芸能館では、伝統芸能ワークショップを新たな事業として始動した。第1回となる今回は豊中出身の落語家桂米平による落語講座を実施。市民ギャラリーでの自主事業は当初複合的なアート事業「こどもアートの日」を実施する予定であったが、今回新型コロナウイルス感染症の状況が見えないため公演中止となった。

以上のとおり、普及育成事業の取り組みは新型コロナウイルス感染症対策の中で難しいかじ取りをしながらの実施であった。しかし、アウトリーチなど大きく歩みだした事業もあり、今後も引き続き音楽や創造をテーマにした事業に取り組んでいきたい。

2) 鑑賞事業の企画・実施

指定管理2期目の初年度にあたる1年であり、また新型コロナウイルス感染症により世界中がこれまでとは全く違う生活様式となって2年が経過し、その中で公共文化施設として何を実施すべきかを考えながら事業展開をする1年であった。

特筆すべき点は、「ひと聴きぼれ」をテーマとしてプログラミングを行い、1年間4回の公演をひとつの線として捉え実施する「新・豊中名曲シリーズ」である。市内各所で撮影した写真をポスターにし、通常のオーケストラ公演とは全く違う「飾りたくなる」をコンセプトにチラシを作成。新規客の獲得をめざす一方で、地域を拠点としてオーケストラ公演をシリーズ化して行う意義を改めてつけていくための公演となった。広報展開だけではなく、会場演出を行うことで、「舞台上でオーケストラ演奏をしている」という従来型の公演に加えて文化芸術センターを拠点とする意味を付与することができた。来場者も継続して600人前後を推移したことは、1期と比べるとその定着度が少しずつではあるが、上がってきていることがうかがえる。

オーケストラ公演では、日本センチュリー交響楽団以外にも、文化庁が主催するオーケストラキャラバンを活用し関西ではなかなか聞ける事のない「東京ニューシティ管弦楽団」と「東京フィルハーモニー交響楽団」の公演を実現した。室内楽では、牛田智大ピアノリサイタルや、大阪音楽大学で教鞭をとる片岡リサによる新春の箏リサイタルを実施。新型コロナウイルス感染症の影響下にもかかわらず多くのお客様が来場し、満足度の高い公演となった。

ジャズ公演では、クリスマスをテーマにした「マヤ・ハッチ×田中菜緒子トリオ」の大人向けの公演を実施した。また、ローズ文化ホールを拠点に新たな定着型事業の展開をめざすため、大阪音楽大学出身者が在籍し、同大学で結成され今や全国で活躍を続けるブラック・ボトム・ブラス・バンド公演を行った。

プログラムディレクターのバレエダンサー針山愛美によるプロデュース公演としては、世界的バレエダンサーの一人マラーホフを招いた公演も2度の中止を乗り越え今回ようやく実現することができた。本公演は、100名以上が参加したオーディションを経て一般の方も参加したオリジナル公演である。

その他、毎年実施している「桂米朝一門会」「とよキネマ」は状況を鑑みながら実施。また、1月には劇団四季ファミリーミュージカルを大ホールで実施し、引き続き人気の高い公演として多くの方が来場した。

新たな事業として展開しているビジュアルアーツ事業「現代アート」と「メディアアート」はともに「とよなかアーツプロジェクト」として始動した。初年度となる今回は夏休みにMATHRAXによる「いしのこえ」展を和室で、10月には吉開奈央特集をシアター企画として展示室で実施した。ともに、次年度の本展にむけてのプレイベントとなる。本プロジェクトは展示だけではなく、次年度にむけてのリサーチも行い準備している。

各事業の概要は以下の通り。

【鑑賞事業実施一覧】

事業 番号	カテゴリー	会場	実施事業名	実施日	形態	入場料	集客		目標達成率 (/目標数)
							設定	実績	
1	クラシック	大ホール	センチュリー豊中名曲シリーズ Vol.18	6月26日	共催	一般 4,500円 会員 4,000円 他	672	517	76.9%
2	クラシック	大ホール	牛田智大 ピアノリサイタル	9月7日	主催	一般 3,500円 会員 3,200円 他	672	601	89.4%
3	クラシック	小ホール	にほんのうた Vol.9 ～あなたに届けたいメロディー～	10月7日	主催	一般 2,500円 会員 2,000円	404	234	57.9%
4	クラシック	大ホール	センチュリー豊中名曲シリーズ Vol.19	10月30日	共催	一般 4,500円 会員 4,000円 他	1,306	619	47.4%
5	クラシック	大ホール	センチュリー豊中名曲シリーズ Vol.20	12月18日	共催	一般 4,500円 会員 4,000円 他	1,306	530	40.6%
6	クラシック	小ホール	TRANCE MUSIC FESTIVAL 2021ー2022 SENSATIONS	1月21日	主催	一般 2,000円 会員 1,800円 他	154	84	54.5%
7	クラシック	大ホール	センチュリー豊中名曲シリーズ Vol.21	3月19日	共催	一般 4,500円 会員 4,000円 他	1,306	701	53.7%
8	クラシック	大ホール	東京混声合唱団コン・コン・コンサート2021 ※新型コロナウイルス感染拡大により中止	5月15日	共催	公演中止	—	—	—
9	クラシック	小ホール	センチュリー室内楽シリーズ ピアノ☆ナイト～featuring 野村誠	2月22日	主催	一般 3,500円 会員 3,000円 他	202	121	59.9%
10	クラシック	大ホール	文化庁アーツキャラバン 東京ニューシティ管弦楽団	9月16日	共催	一般 4,500円 会員 4,000円 他	1,344	490	36.5%
11	クラシック	大ホール	文化庁アーツキャラバン 東京フィルハーモニー交響楽団 特別公演	11月17日	共催	一般 4,500円 会員 4,000円 他	1,344	735	54.7%
12	ポップス	大ホール	林部智史 CONCERT TOUR 2021 ～秋冬 “まあだだよ”	10月17日	共催	一般 7,000円	672	604	89.9%
13	ジャズ	ローズ文化 ホール	BLACK BOTTOM BRASS BAND しょうないふえず'21 クリスマススペシャル	12月11日	主催	一般 1,500円 会員 1,300円 他	250	233	93.2%
14	ジャズ	小ホール	マヤ・ハッチ×田中葉緒トリオ X' mas JAZZ NIGHT 2021	12月17日	主催	一般 3,000円 会員 2,500円	174	143	82.2%
15	ジャズ	中ホール	FM COCOLO 公開録音コンサート (映像収録のみ)	6月17日	共催	—	—	—	—
16	舞台	大ホール	劇団四季ファミリーミュージカル 「はじまりの樹の神話～こそあとの森の物語～」	1月16日	主催	一般 5,500円 会員 4,800円 他	1,306	1,107	84.8%
17	舞台	大ホール	MBSアナウンサー コトノハ ものがたりの世界2022	3月6日	共催	大人 1,900円 子ども 500円	2,612	1,857	71.1%
18	伝統芸能	中ホール	桂米朝一門会	6月25日	主催	一般 3,000円 会員 2,700円	245	153	62.4%
19	伝統芸能	小ホール	片岡リサ 新春箏リサイタル	1月4日	主催	一般 3,500円 会員 3,000円 他	202	158	78.2%
20	伝統芸能	伝統芸能館	豊中芸人倶楽部寄席	10月2日	主催	無料	60	54	90.0%
21	伝統芸能	伝統芸能館	旭堂南北一人語り「ひ・ろ・し・ま」	8月21日	主催	無料	50	34	68.0%

事業 番号	カテゴリー	会場	実施事業名	実施日	形態	入場料	集客		目標達成率 (/目標数)
							設定	実績	
22	伝統芸能	伝統芸能館	詩吟の祭典 in 豊中	10月17日	共催	無料	50	32	64.0%
23	伝統芸能	伝統芸能館	邦楽鑑賞会	—	共催	公演中止	—	—	—
24	伝統芸能	伝統芸能館	伝統芸能まつり	2月6日	主催	公演中止	—	—	—
25	舞踊	大ホール	針山愛美プロデュース公演 With Love From Malakhov	1月19日	主催	一般 6,000円 会員 5,500円 他	1,344	910	67.7%
26	映画	展示室	とよなかアーツプロジェクトシアター企画 吉開奈央特集「Dancing Films」	10月16日 ～ 10月20日	主催	一般 1,300円 大学生 1,000円 高校生 800円 他	270	60	22.2%
27	映画	中ホール	とよキネマ Vol.36 「男はつらいよ」 ※新型コロナウイルス感染拡大により中止	5月21日	主催	公演中止	—	—	—
28	映画	小ホール	とよキネマ Vol.37 「ソング・オブ・シー」	8月20日	主催	一般 1,000円 会員 900円 他	303	135	44.6%
29	映画	小ホール	とよキネマ Vol.38 「あん」	11月19日	主催	一般 1,000円 会員 900円 他	501	313	62.5%
30	映画	小ホール	とよキネマ Vol.39 「家へ帰ろう」	2月10日	主催	一般 1,000円 会員 900円 他	501	212	42.3%
31	その他	展示室	豊中まつり連携事業	10月3日	共催	公演中止	—	—	—

〔普及育成事業実施一覧〕

事業 番号	カテゴリー	会場	実施事業名	実施日	形態	入場料	集客		目標達成率 (/目標数)
							設定	実績	
32	普及育成	オンライン	とよなかARTSワゴン 2021シーズン 「とよなかARTSワゴンフェスティバル」 ※公演中止→Youtubeでのオンライン配信	8月から順 次公開	主催	無料	—	3,750	—
33	普及育成	オンライン	とよなかARTSワゴン 2021シーズン 「アートマネジメント講座（全7回）」	6月から 順次開催	主催	一般 3,500円 学生 2,800円	140	133	95.0%
34	普及育成	ローズ文化 ホール	とよなかARTSワゴン 2021シーズン 南部活性事業「たそがれもののけハウス」	8月15日	主催	無料	150	120	80.0%
35	普及育成	小ホール	とよなかARTSワゴン 2021シーズン 上馬場啓介 サクソフォンリサイタル “艶奏”	12月3日	主催	一般 1,500円 会員 1,200円 他	202	90	44.6%
36	普及育成	小ホール	とよなかARTSワゴン 2021シーズン 若井亜妃子ピアノリサイタル “つながり”	1月28日	主催	一般 1,500円 会員 1,200円 他	202	75	37.1%
37	普及育成	小ホール	とよなかARTSワゴン 2021シーズン 新崎洋美ピアノリサイタル	2月18日	主催	一般 1,500円 会員 1,200円 他	202	71	35.1%
38	普及育成		とよなかARTSワゴン 2021シーズン (アウトリーチ含む)	通年	主催	—	—	2,590	—
39	普及育成	諸室	お茶の間オーケストラ	3月10日 3月23日 3月24日	主催	—	—	—	—
40	普及育成	諸室	針山愛美ダンスプロジェクト ※蔓延防止のため中止	—	主催	公演中止	—	—	—
41	普及育成	ローズ文化 ホール	こどもアートの日イベント 0歳からのコンサート	3月20日	主催	一般 500円	400	362	90.5%
42	普及育成	伝統芸能館	桂米平の落語講座	11月2日 11月9日	主催	無料	40	29	72.5%
43	普及育成	多目的室	シンポジウム「アートとサイエンス 大学とつ くる街のすがた」	6月20日	共催	公演中止	—	—	—
44	普及育成	ローズ文化 ホール	世界のしょうない音楽祭	2月26日	共催	無料	336	100	29.8%
45	普及育成	ホワイエ	ブレバフォーマンス&トーク12「左手のピアニ スト智内威雄さんによるトーク&演奏」	6月22日	主催	無料	20	18	90.0%
46	普及育成	オンライン	ブレバフォーマンス&トーク13「ポピュラー音楽 評論家から見たドヴォルザーク、そしてチェロ協 奏曲」	9月25日	主催	無料	—	657	—
47	普及育成	ホワイエ	ブレバフォーマンス&トーク14「安富歩・片岡祐 介（純セレブ騎士団）の「名曲を読み解く！～ フォーレ：レクイエム」	11月12日	主催	無料	30	30	100.0%
48	普及育成	ホワイエ	ブレバフォーマンス&トーク15 作曲家はギターが苦手？	2月9日	主催	無料	80	20	25.0%
49	普及育成	諸室	レセプションist育成事業	—	主催	実施中止	—	—	—
50	普及育成	大ホール	Be on the Stage	9月12日	共催	参加費 5,000円 他	—	178	—
51	普及育成	多目的室	大阪音楽大学ミュージックコミュニケーション専 攻共催事業「AND ART」	7月7日	共催	一般 2,500円 他	100	51	51.0%
52	普及育成	小ホール	大阪音楽大学ミュージックコミュニケーション専 攻共催事業「Singer Song Writer」	11月18日	共催	前売 3,000円 当日 3,500円 他	202	46	22.8%
53	普及育成	伝統芸能館	舞台ワークショップ	11月3日 ～ 2月6日	主催	無料	6	6	—

【ロビーコンサート一覧】

事業 番号	カテゴリー	会場	実施事業名	実施日	形態	入場料	集客		目標達成率 (/目標数)
							設定	実績	
54	ロビーコン サート	多目的室	0歳からのプラスアンサンプル	4月14日	主催	無料	100	84	84.0%
55	ロビーコン サート	多目的室	マリンバと弦楽アンサンプル	8月12日	主催	無料	100	72	72.0%
56	ロビーコン サート	多目的室	大阪音楽大学ミュージックコミュニケーション専 攻プロデュース公演 POPCORN～電子オルガンで奏でる映画音楽～	6月30日	主催	無料	100	44	44.0%
57	ロビーコン サート	ホワイエ	琉球の響き～三線とお話し～	11月4日	主催	無料	100	63	63.0%
58	ロビーコン サート	多目的室	大阪音楽大学ミュージックコミュニケーション専 攻プロデュース公演 EXPRESSION 5	12月8日	主催	無料	200	98	49.0%

【展示事業一覧】

事業 番号	カテゴリー	会場	実施事業名	実施日	形態	入場料	集客		目標達成率 (/目標数)
							設定	実績	
59	展示	諸室	メディアアート展（ブレ企画） MATHRAX「いしのこえ」	8月19日 ～ 9月5日	主催	無料	320	278	86.9%
60	展示	展示室	TOYONAKA CREATORS STATION とよなかゆかりのクリエイター展	8月20日 ～ 9月5日	主催	無料	1,640	1,336	81.5%
61	展示	市民ギャラ リー	市民ギャラリー企画展	—	主催	無料	—	—	—
62	展示	展示室	似顔絵エキスポ2022	3月2日 ～ 3月6日	共催	無料	—	392	—

3) 情報提供事業

地域文化芸術情報の受発信

地域文化芸術情報の受発信の取組みとして、館内チラシラックを利用し、貸館催事や主催事業だけでなく、他館の文化情報や催事情報を積極的に配架することで、広域における文化芸術情報発信機能の拡大に努めた。

デジタルツールを利用した情報発信

YouTube を利用しレジデントアーティストによる動画や自主事業の出演者等へのインタビュー動画を配信したほか、Facebook や Twitter など、複数の SNS を活用し情報発信を行った。

ホール情報紙やホームページを通じた施設情報の提供 等

情報紙としては、第1期に引き続き自主事業公演情報紙「aperitif」の発行を行った。また、年間パンフレットを作成し、会員に向けて次年度事業の紹介を行った。人材育成事業「とよなか ARTS ワゴン」報告書を作成し当館の人材育成事業の成果報告として関係各所に配布している。

公式ホームページでは新たに加わった伝統芸能館と市民ギャラリーのページを作成。また、展示室・多目的室を含む文化芸術センターの1階エリアのバーチャルツアーを作成。ホームページからでも館内の様子をご覧いただけるシステムを作成した。

文化芸術センター及びローズ文化ホール館内ではチラシラックの充実を図ることで、地域の文化情報発信拠点としての機能向上を図った。加えて、文化芸術センターにおいては共有ロビー壁面にポスターの掲示を開始。

その他の情報発信として、積極的なマスメディアへの情報提供による新聞や雑誌などでのパブリシティ、市内公共施設へのチラシ、ニュースリリースの発行、一般紙、地域紙への広告出稿など、多様なメディアを活用した施設情報や公演情報の発信を行った。

また、令和3年度でレジデントアーティスト1期生が卒業することから、その後の彼女ら・彼らの活躍の場をつくり、市民の方にも情報をオープンにするため「とよなか ARTS ワゴン アーティストバンク」を立ち上げた。アーティストバンクは令和4年4月1日から運用がスタートしており、当館ホームページで規約や要項、利用方法やアーティスト紹介を行っている。

4) 相談事業

施設利用に関する相談・アドバイス業務の実施

ホール利用見学会の拡充、特化型の相談会の実施

ホール利用者や希望者を対象とした相談・見学会を当年度も実施した。昨年度同様、新型コロナウイルス感染症の影響で一部中止となったが、文化芸術センターでは23組64名の参加があった。それ以外でも急な見学希望があった場合は、施設稼働に余裕がある限り対応を行った。

相談・見学会参加者数

見学相談会	4月		5月		6月		7月		8月		9月	
	組	人数	組	人数	組	人数	組	人数	組	人数	組	人数
文化芸術センター	2	7			0	0	1	5	4	13	1	3

見学相談会	10月		11月		12月		1月		2月		3月		合計	
	組	人数	組	人数	組	人数	組	人数	組	人数	組	人数	組	人数
文化芸術センター	5	14	3	7	1	2	3	8	2	3	1	2	23	64

自治体や他施設、業界団体等の視察・見学への対応 等

愛知県芸術劇場にて開催された「劇場職員セミナー」「舞台芸術人材育成ラボ」等へ参加し、他施設の見学担当者との情報交換を行った。当年度においても新型コロナウイルス感染症の影響により各セミナーや意見交換会等の中止・延期が多くあったが、次年度は更に積極的な交流ができるよう努める。

参加したセミナーはP.24～P.25[教育訓練、研修セミナー等の実施]参照

5)「友の会」運営業務

豊中市市民ホール友の会（club CaT）の組織運営

チケット優待サービスや会員向け情報発信

豊中市市民ホール友の会「club CaT（クラブキャット）」当年度の会員入会数は729名（令和4年3月末）となり、要求水準の1,000名には至らなかった。原因として、新型コロナウイルス感染症の影響と、令和3年度が指定管理2期目初年度にあたり事業数自体が半分になっていたことがあげられる。次年度以降プレミアムな公演プログラムの提供や優待制度、招待公演などを実施し会員としてのメリットを拡充していく計画である。

年度会員数	729名（令和4年3月末時点）
会員特典等	●主催公演チケットにおける会員先行発売期間の設定 ●主催公演チケットにおける会員価格の設定 ●ホール自主公演情報誌「aperitif」の送付 ●近隣店舗の協力による優待サービスの提供

6) 広報・宣伝事業

施設ホームページの運営

施設、事業、各種募集、貸館催事等の情報発信（随時更新/目標 580,000PV/年）

豊中市市民ホール等4施設のホームページアクセス状況は以下の通り。

主な評価項目	内容及び数値（豊中市市民ホール等4施設）
対象期間	令和3年4月1日～令和4年3月31日
ユーザー数	180,507ユーザー（前年124,925ユーザー） ※当該WEBサイトに訪れた人の数
セッション数	312,156回（前年233,117回） ※ユーザーがWEBサイトに訪問した数
ページビュー数	892,236PV（前年647,115PV） ※ユーザーがサイト内のページを閲覧した数

いずれの項目も対前年を上回る結果となり、ページビュー数の目標についても大きく上回る結果となった。理由としては当年度より新たに伝統芸能館、市民ギャラリーのホームページを追加したことだけでなく、魅力あるコンテンツの提供や各広報などからの誘導、3月より導入した展示室・多目的室のバーチャル館内案内などの新たな取組み結果であると考えられる。引き続きホームページの利便性向上に努める。

情報誌、催事情報カレンダーの作成・発行

第 1 期指定管理より発行している会館情報誌「aperitif」を引き続き制作。自主事業の開催情報、アーティストインタビュー、作曲家加藤昌則によるコラム、公演アーカイブ、施設機能紹介など、幅広い情報を掲載することで、多くの市民が楽しめるような紙面構成に努めた。

【情報誌、催事情報カレンダーの発行部数】

発行物	発行日	発行部数
aperitif vol.29	令和 3 年 5 月 25 日	5,000 部
aperitif vol.30	令和 3 年 7 月 25 日	5,000 部
aperitif vol.31	令和 3 年 9 月 25 日	5,000 部
aperitif vol.32	令和 3 年 11 月 25 日	5,500 部
aperitif vol.33	令和 4 年 1 月 25 日	5,500 部
令和 4 年度公演ラインナップ	令和 4 年 2 月 8 日	4,500 部
aperitif vol.34	令和 4 年 3 月 25 日	5,500 部

施設パンフレット、利用案内リーフレットの作成

施設パンフレットは、引き続き使用している。利用案内リーフレットは、使いやすさを重視して更新を行っている。また、展示室・多目的室の使い勝手の良さを示し、利用を促進するために、施設機能の紹介に特化した利用案内を別途作成し活用を図っている。

チラシ・ポスター等の作成

自主事業公演ごとにチラシやポスター作成のほか、自主事業公演ラインナップリーフレットや club CaT（友の会）会員入会促進チラシ、会員優待利用店が掲載されたリーフレットも作成した。また、センチュリー豊中名曲シリーズでは特設ページの開設にあわせて予告編動画の作成も行った。

Facebook、Twitter、YouTube など SNS による広報・宣伝活動

オフィシャル WEB ページの更新、Facebook や Twitter、Instagram による発信を開始。施設や事業の広報・宣伝活動をより積極的に行った。また、新型コロナウイルス感染症の影響による集客が難しい中、公演動画だけでなくプロモーションビデオ等を YouTube チャンネルにて配信。インスタライブによるアーティストトーク等、自宅でも楽しめる当館コンテンツを準備し、当館の広報ブランディングにつながることをめざした。

有料 WEB 広告は、Facebook に加えて Twitter でも実施し、豊中周辺に居住するオンラインユーザーへの訴求はもちろんのこと豊中市外のユーザーにも発信することで広報効果

の向上を図った。

※数値は一部を除いて令和3年4月から令和4年3月末までのもの

SNS ツール	広報・宣伝活動の概要
Twitter	ツイート数：215 ツイート 掲載内容：主催公演情報、チケット販売情報、イベントリポート 等 フォロワー数：1,510
Facebook	投稿数：166 件 掲載内容：主催公演情報、チケット販売情報、イベントリポート 等 いいね！数：1,217 フォロワー数：1,461 人 チェックイン数：10,552 人（総数） レビュー数：39
Instagram	投稿数：84 投稿内容：主催公演情報、チケット販売情報、イベントリポート 等 いいね！数：1,549 フォロワー数：369 人

【パブリシティによるメディア掲載、その他広告出稿】

「とよなかアーツプロジェクト」など新規事業が多くなった当年度は、新聞・情報誌や WEB メディアへの積極的なアプローチによるパブリシティ効果の向上を図った。また、関西にあるホール全般を対象にした情報誌「MEG WEST」の出稿を継続して掲載し、新型コロナウイルス感染症の影響下でも積極的に文化事業を実施する公共文化施設として文化芸術センターをアピールできる広報展開をしていった。

媒体名（パブ掲載）	発行日（号）	掲載内容
日本経済新聞	令和3年4月28日	文化芸術センター自主事業案内
MEG WEST VOL.05	令和3年6月20日	文化芸術センター自主事業案内
読売新聞	令和3年8月12日	文化芸術センター自主事業案内
MEG WEST VOL.06	令和3年8月15日	文化芸術センター自主事業案内
読売新聞チケプレ	令和3年8月19日	文化芸術センター自主事業案内
街から北摂	令和3年8月20日	文化芸術センター自主事業案内
朝日新聞	令和3年8月24日	「いしのこえ」記事
朝日新聞	令和3年8月27日	文化芸術センター自主事業案内

読売新聞	令和3年10月8日	文化芸術センター自主事業案内
MEG WEST VOL.07	令和3年10月17日	文化芸術センター自主事業案内
Hatena Blog リュック・フェラーリの 『プレスク・リヤン協会』	令和4年1月15日	TRANCE MUSIC FESTIVAL 2021→ 2022 公演前インタビュー掲載
Hatena Blog リュック・フェラーリの 『プレスク・リヤン協会』	令和4年1月29日	TRANCE MUSIC FESTIVAL 2021→ 2022 公演プレビュー掲載
MEG WEST VOL.08	令和3年12月19日	文化芸術センター自主事業案内
MEG WEST VOL.09	令和4年2月20日	文化芸術センター自主事業案内
SMILE とよなか 22号	令和4年3月発行号	ローズ文化ホール自主事業案内
朝日新聞	令和4年3月25日	文化芸術センター自主事業案内

4. 施設の運営に関する業務

貸館事業（施設の提供）

1）施設利用状況表（開館日数、利用日数、利用率、利用件数、区分・時間稼働率、利用人数）

1）各館ホールの利用状況

	施設名/項目	開館日数	利用日数	利用件数	利用率	利用可能 区分	利用区分	区分稼働率	利用人数
1	大ホール	257	183	156	71.2%	771	484	62.8%	79,532
2	中ホール (アクア文化ホール)	41	23	21	56.1%	121	53	43.8%	2,469
3	小ホール	269	249	288	92.6%	772	625	81.0%	33,327
4	ローズ文化ホール	246	189	181	76.8%	583	406	69.6%	28,837
合 計		813	644	646	平均稼働率	2,247	1,568	平均区分 稼働率	144,165
					79.2%			69.8%	

2）文化芸術センター諸室の利用状況

	施設名/項目	開館日数	利用日数	利用件数	利用率	利用可能 区分・時間	利用 区分・時間	区分稼働率	利用人数
1	展示室	256	164	85	64.1%	768	410	53.4%	13,938
2	多目的室	257	223	217	86.8%	771	512	66.4%	18,106
3	練習室1	260	260	540	100.0%	3,380	2,336	69.1%	3,412
4	練習室2	261	260	554	99.6%	3,393	2,315	68.2%	5,393
5	練習室3	260	260	589	100.0%	3,380	2,198	65.0%	2,369
6	ミーティングルーム1	262	222	323	84.7%	3,406	1,552	45.6%	2,576
7	ミーティングルーム2	259	223	282	86.1%	3,367	1,453	43.2%	1,818
8	ミーティングルーム3	259	206	231	79.5%	3,367	1,511	44.9%	1,445
9	スタジオ	259	259	816	100.0%	3,367	2,006	59.6%	1,303
10	和室	261	203	192	77.8%	3,393	1,220	36.0%	1,334
合 計		2,594	2,280	3,829	平均稼働率	28,592	15,513	平均区分 稼働率	51,694
					87.9%			54.3%	

3）アクア文化ホール諸室の利用状況

	施設名/項目	開館日数	利用日数	利用件数	利用率	利用可能 時間	利用時間	区分稼働率	利用人数
1	音楽室	32	32	73	100.0%	416	272	65.4%	696
2	練習室	30	30	66	100.0%	390	207	53.1%	465
合 計		62	62	139	平均稼働率	806	479	平均区分 稼働率	1,161
					100.0%			59.4%	

4）ローズ文化ホールの利用状況

	施設名/項目	開館日数	利用日数	利用件数	利用率	利用可能 時間	利用時間	区分稼働率	利用人数
1	会議室	252	93	93	36.9%	2,986	912	30.5%	1,229

5）伝統芸能館の利用状況

	施設名/項目	開館日数	利用日数	利用件数	利用率	利用可能 時間	利用時間	区分稼働率	利用人数
1	ホール	254	202	289	79.5%	759	379	49.9%	6,444

6）市民ギャラリーの利用状況

	施設名/項目	開館日数	利用日数	利用件数	利用率	利用可能 時間	利用時間	区分稼働率	利用人数
1	ギャラリー	258	174	37	67.4%	742	535	72.1%	8,838

※1）新型コロナウイルスの影響によるキャンセルは、各施設とも利用可能区分・時間から除外して計算。

※2）ローズ文化ホール会議室の利用人数について…ホール控室として使用された際の人数は計上せず。

2) 施設来館者数集計表

施設名/月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
文化芸術センター	貸館利用者数													
	大ホール	2,773	0	1,188	13,237	5,794	5,680	3,510	9,275	7,850	13,005	6,305	10,915	79,532
	中ホール	1,193	0	1,276										2,469
	小ホール	1,494	0	1,453	6,993	2,745	2,334	3,197	2,859	5,244	2,244	2,098	2,666	33,327
	展示室	20	0	100	1,873	927	669	1,154	3,115	3,361	397	1,141	1,181	13,938
	多目的室	849	0	402	3,015	266	982	1,860	3,219	1,555	2,353	2,266	1,339	18,106
	練習室1	288	0	101	339	298	310	362	354	358	326	350	326	3,412
	練習室2	362	0	185	652	443	492	589	606	646	423	517	478	5,393
	練習室3	160	0	102	171	236	217	250	297	234	256	209	237	2,369
	MTGルーム1	141	0	53	308	134	188	310	309	328	241	261	303	2,576
	MTGルーム2	180	0	66	211	176	118	141	244	218	150	155	159	1,818
	MTGルーム3	129	0	29	163	101	129	141	109	223	134	116	171	1,445
	スタジオ	98	0	41	106	128	125	143	150	146	113	118	135	1,303
	和室	61	0	55	106	262	206	105	119	118	86	110	106	1,334
	キッズルーム								120	133	107	121	118	599
	アクア音楽室	470	0	226										696
	アクア練習室	344	0	121										465
	使用承認申込者数	255	69	287	258	257	281	275	268	271	261	262	314	3,058
	チケット購入者数	131	42	289	360	238	388	586	557	329	400	533	487	4,340
	友の会入会者数	543	17	20	20	7	10	44	5	24	19	13	7	729
	カフェ利用者数			1,799	3,505	3,572	3,522	3,725	4,318	3,532	2,860	2,903	3,143	32,879
	小計	9,491	128	7,793	31,317	15,584	15,651	16,392	25,924	24,570	23,375	17,478	22,085	209,788
ローズ文化ホール	貸館													
	ホール	1,577	0	672	4,750	2,696	1,902	2,269	3,196	4,003	1,311	2,702	3,759	28,837
	会議室	42	0	28	73	168	74	106	161	174	90	131	182	1,229
	使用承認申込者数	36	26	40	30	36	29	45	36	26	19	28	9	360
	チケット購入者数	0	0	0	0	0	0	2	6	0	1	3	3	15
	小計	1,655	26	740	4,853	2,900	2,005	2,422	3,399	4,203	1,421	2,864	3,953	30,441
伝統芸能館	貸館													
	ホール	211	0	121	707	652	576	838	967	674	405	726	567	6,444
	使用承認申込者数	70	5	26	34	27	21	20	20	18	14	11	17	283
	小計	281	5	147	741	679	597	858	987	692	419	737	584	6,727
市民ギャラリー	貸館													
	ギャラリー	285	0	311	293	562	1,068	1,402	1,139	1,134	472	845	1,327	8,838
	使用承認申込者数	8	2	3	4	3	5	1	6	2	5	0	4	43
	小計	293	2	314	297	565	1,073	1,403	1,145	1,136	477	845	1,331	8,881
合計		11,720	161	8,994	37,208	19,728	19,326	21,075	31,455	30,601	25,692	21,924	27,953	255,837

3) 各施設の利用状況について

1) 文化芸術センター

新型コロナウイルス感染症の影響も 2 年目になり、通年では大ホール利用率が 71.2%、小ホール 92.6%と前年に比べて一定水準まで回復することができた。特筆すべきは小ホールの利用率で、昨年度通年の利用率の 78.4%から大幅に上回り、当館の過去のピーク時の通年 100%（令和 3 年度実績）に近づいてきていると感じる。展示室・多目的室の利用率も同様に 74.8%と前年数値を 15.7 ポイント上回る結果となった。特に多目的室は 87.6%という非常に高い利用率を記録した。展示室・多目的室を除く諸室の平均利用率は 87.7%と昨年度（86.5%）に対し微増ではあったが、平均稼働率でも本年度 52.8%と昨年度より 7.7 ポイント増加する結果となった。

施設サービス業務では、昨年度末から取り組んでいる高機能クラウドサービス型施設予約システムの新規入替と共にキャッシュレス決済のシステムを構築し、当年度末には全支払いに対して約 25%の割合で利用していただき、利用者の利便性向上や事務効率の向上に貢献した。

2) アクア文化ホール（中ホール）

利用率は 56.1%と低水準で推移したが、大規模改修工事が令和 3 年 7 月から令和 4 年 3 月まで実施され、また、新型コロナウイルス感染症の影響があった 4 月から 6 月の 3 か月の稼働であったことが影響していると考えられる。アクア文化ホールのリニューアルを心待ちにしていたお客様も少なくないので令和 4 年度は大ホール・小ホール同様、利用率の回復を期待する。

リニューアルに際して、座席の入れ替えやトイレの改装、授乳室の新設はお客様へのサービス向上に繋がっていくと思われる。また、楽屋やホワイエの備品に関しても買い換えていく予定としている。

3) ローズ文化ホール

ホールの利用率は 76.8%と昨年度より 21.0 ポイント増加し、利用人数も 28,837 人と対前年 212.6%と倍増、会議室の利用率も 37.1%と昨年度より 13.7 ポイント増加した。利用件数や利用人数の増加の背景としては、新型コロナウイルス感染症の影響による休館日数が令和 2 年度の 4 月 8 日～5 月 30 日より令和 3 年度は 4 月 25 日～5 月 31 日と短くなり開館日数が 20 日ほど増えたことや 7 月から 3 月末までアクア文化ホール（中ホール）が工事のために休館したことなど外部要因によるところもあったと考える。

施設維持管理の面では、平成元年の供用開始から経年劣化が進み、ホール内の設備等だけでなく、国旗掲揚ポール支柱の破損や会議室・応接室の雨漏りなど多様な事象が発生しており、各種修繕工事を実施した。令和 5 年度に実施予定とされる大規模修繕にホール座席の改修やトイレの改修が実施される予定であり、利用者の利便性の向上や安全性が確保され

た施設となることを期待する。

4) 伝統芸能館

当年度から新たに管理運営するなか、新型コロナウイルス感染症の影響も在りながら、平均利用率は多目的ホール利用率は昨年度より 20.7 ポイント、利用者数も昨年度より 3,505 人増加した。新型コロナウイルス感染症の影響下 2 年目になって、利用者の方に新型コロナウイルス感染症への対処法が周知され利用率が上がったものとする。

施設維持管理の面では、調光設備・照明器具・舞台吊物装置等、各設備については老朽化が進んでおり、突発的なトラブルが発生した際に対応が困難である場合があるため、各設備の更新が必要であるとする。

5) 市民ギャラリー

伝統芸能館とともに、当年度より新たに管理運営する施設である。新型コロナウイルス感染症の影響でキャンセルや延期が多く発生するなか、稼働率 67.4%と要求水準（60%）を超えたことは評価できる結果であるとする。

当年度の取り組みとしては、指定管理者での運営は初年度という事もありルールのは正などに着手した。今後も市民の利用しやすい施設として運営上のルールを見直す必要がある点は積極的な変更を提案する。

5. 施設及び設備の維持管理に関する業務

1) 舞台の管理に関する業務

文化芸術センター・ローズ文化ホール共に、経験豊富な舞台技術担当者による日常保守点検及び定められた回数の定期保守点検を保守点検業者及び設備・機器メーカーと連携を図るとともに、メンテナンス担当者と綿密な相談のうえで滞りなく実施した。

小ホールに関しては非常に高い稼働率を維持しており、休館日に定期保守点検を実施するなどして規定の回数を実施している。また、推奨交換時期に来ている機器に関しては、保守点検業者と相談し定期点検時に交換作業を行うことでコスト削減に努めた。

アクア文化ホール（中ホール）は天井改修等工事のため半年間休館となったが、再開前に各種保守点検を実施し、安全に利用できるよう整備した。

ローズ文化ホールについては、老朽化による不具合が多く発生しているが、軽微なものは担当者が修繕を行うことで施設及び設備の長寿命化を図っている。対応が難しい程度のもので計画的な修繕が必要と考えられる案件については不具合・修理事件として適宜報告を行った。

伝統芸能館については、専門の技術員が常駐しないという特性上、受付職員に危険箇所を周知した。また、舞台ワークショップを行い、利用者及び受付職員に舞台技術に関する助言をした。

新型コロナウイルス感染症対策について、常に最新の情報を得ながらホール利用者に安

全に使ってもらえるよう舞台管理に努めた。

2) 施設及び設備の維持管理に関する業務

豊中市市民ホール等指定管理者業務仕様書に定められた施設及び設備の維持管理に関する業務を行った。各業務の概要は以下の通りである。

○設備維持管理

竣工より 7 年目となり、各不具合案件が発生する中、優先順位を明確にし適宜機器交換及び工事を実施した。発生した案件は都度運営部門スタッフに共有するとともに、迅速な“報連相”を心掛けた。また、毎月実施の市モニタリングにはアクア文化ホール、文化芸術センターの設備責任者が毎回出席することで、市及び指定管理者内での適切な情報共有とあわせて、施設の一体的な維持管理を徹底している。今後は、長いスパンでの設備維持業務を試み長期での修繕計画を提案をしていく。また、今期より新たに指定管理案件となった伝統芸能館及び市民ギャラリーについても、保守点検時は、文化芸術センター及びアクア文化ホールに常駐する設備員が、立ち合いのもと設備状況の把握を行い、改善に向けて最適な案を検討した。

ローズ文化ホールにおいては庄内体育館指定管理者が駐車場管制装置保守点検及び立体駐車場機械保守点検を 1 年間実施していないことが判明し、体育館指定管理者と協議の上、未実施の費用については豊中市へ戻入することになった。

次年度以降も引き続き安心・安全に配慮した施設維持管理とあわせて、設備機器等の最適化運用を行うことで環境負荷の低減に努める。

○清掃業務

本年も昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の影響で休館期間があり、感染対策を意識した清掃を行った。アクア文化ホールの改修工事が 7 月より行われその分文化芸術センターをはじめ、他の剥離洗浄業務を行うなど、状況に応じ品質の向上に務めた。今期より指定管理案件となった、伝統芸能館及び市民ギャラリーの清掃業務についても、規模は文化芸術センター及びアクア文化ホールより小規模ではあるが、感染対策及び美観の維持に注力した。

○保安警備業務

新型コロナウイルス感染症の影響により、昨年度に引き続き施設営業時間やイベント開催時間の変更などが多数発生し、扉やゲート開閉時間の変更対応等の影響を受けたが、協力会社と連携による柔軟な対応に努めた。また、新型コロナウイルス感染症の影響によるイベント中止や利用施策に対する意見をいただく場合も多数あった。これを受け、全体を通じて警備業法に則った法令順守を基本とし、毅然とした態度と良識ある公正な行動により信頼される施設保安警備業務を実施した。

緊急時や非常時における対応では、消防訓練をはじめ、さまざまなケースを想定した訓練やシュミレーションを繰り返すことで、引き続き有事に対して万全な保安体制の維持構築に努める。

令和 3 年度より伝統芸能館でも実際に消防訓練を行うことで、これまで机上のみの訓練だったが当年度からの実施により、保安体制の拡大を図ることが出来た。

日常業務においても、昨年度と比べ来客者・訪問者も増加傾向にある中で、職員間で常に最新情報の共有を行うことで、イレギュラー事象へも遅滞なく対応出来るよう体制を構築する。

3) 行政財産の使用について（コミュニケーションロビーならびにビュッフェの活用）

コミュニケーションロビー内飲食施設に関しては令和 3 年度より合同会社 COTATSU による「ORION COFFEE」が運営委託を担うことになったが、4 月・5 月は緊急事態宣言発出にともなう休館とあわせて、6 月開業となった。消毒作業や飛沫対策、客席数の間引きなど新型コロナウイルス感染拡大防止策を徹底し、前業者には無いコンセプトで店づくりをし、「ORION COFFEE」ファンが増えたことにより利用数が高水準に推移している。令和 3 年 11 月 24 日から令和 4 年 2 月 27 日の 3 か月間、豊中市にゆかりのある「高浦雅子 油彩画&パステル画展」を開催した。市民からの問い合わせも多く一定の評価は得られたと考える。

コミュニケーションロビーの開放時間はこれまで通り原則 9 時から 20 時としているが、施設の休館や利用制限にあわせて、適宜開放時間の調整を行った。なお、大ホールホワイエ 1 階ビュッフェについては、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、昨年度よりサービス提供を取りやめている。

4) 託児サービス及びキッズルーム

キッズスペースについては、昨年度より引き続き一般開放を行わなかったが、令和 3 年 11 月 6 日より時間を制限しつつ再開した。（3 時間ごと 3 部制、1 部につき 3 組、各部の間に消毒時間を取る）令和 4 年 3 月までで約 600 人のご利用をいただいている。今後も日々変動する新型コロナウイルス感染症の影響を十分に注視しながら、できる限り施設機能の有効活用に努めたい。

6. 運営組織についての報告（職員の研修の取り組みなど）

当年度の初旬は、昨年度からの新型コロナウイルス感染症の影響による研修・セミナーの中止や延期の状況が変わらず相次いだ。しかし、6 月以降は職員が外部研修に積極的に参加することができ、昨年度 1 回の参加に対し当年度は 7 回参加した。またその他、Zoom 等のオンラインツールを活用した社内研修の参加を通じて、職員スキルの向上や体制強化に努めた。

また、毎年度実施している大学生を対象としたインターンシップは 8 月に 11 名、3 月に

17 名を受け入れた。昨年度は 8 月を中止としたが、感染対策を強化し当年度は 8 月、11 月の両月とも受け入れた。

日本建設業連合会主催の令和 2 年度 BCS 賞に文化芸術センターが表彰されたことを受け、日建設計の社長が施設を視察に来館し受入対応を行った。

職員参加による研修、会議参加については次表の通りである。

〔教育訓練、研修セミナー等の実施〕

■文化芸術センター及び市民ギャラリー				
	内 容		実施日	開催場所（参加者数）
安 全	1	消防訓練	令和3年6月2日	中央公民館と合同実施
	2		令和3年12月22日	
	3	防火防災管理者講習	令和3年6月7日	防災センター生野分室 1名
研 修 ・ 会 議	4	「個人情報保護」「コンプライアンス」研修、小テストの実施	令和3年6月3日～10日	職員全員
	5	JCD 施設事務局研修	令和3年6月18日	ZOOM 研修 2名
	6	実践型アートマネジメント人材育成プログラム CHISOU	令和3年7月24日～令和4年3月12日	奈良県立大学 1名 全12回
	7	人権問題事業者研修会	令和3年8月6日	人権平和センター豊中 1名
	8	経理業務研修	令和3年8月8日	文化芸術センター施設サービス課職員
	9	アートマネジメント講座	令和3年12月23日	穂の国とよはし芸術劇 1名
	10	SDGs 理解度・浸透度測定の実施	令和3年9月28日～10月11日	職員全員
	11	A M部令和3年度コンプライアンス Web 研修	令和3年10月2日～24日	職員全員
	12	「個人情報保護運用チェックシート」「各種業務（知財権）チェックシート」実施	令和3年10月8日～22日	職員全員
	13	施設職員フォローアップ研修	令和3年12月16日	ZOOM 研修 2名
	14	令和3年度「JTB GROUP CODE」Web 試験	令和4年1月5日～20日	職員 3名
	15	劇場職員セミナー	令和4年1月19日	愛知県芸術劇場 2名
	16	舞台芸術人材育成ラボ	令和4年1月20日	愛知県芸術劇場 1名
	17	「個人情報保護」・「コンプライアンス」研修・小テストの実施	令和4年1月26日～2月9日	職員全員
	18	舞台芸術創造セミナー	令和4年2月11日～3月13日	愛知芸術文化センター 1名
	19	舞台技術講座	令和4年3月24日～3月25日	神奈川芸術劇場 1名
	20	大阪府公立文化施設協議会ブロック会議	令和4年3月9日	フェニーチェ堺 1名

■ローズ文化ホール				
安全	1	消防訓練	令和3年9月30日	庄内体育館と合同実施
	2	消防訓練	令和4年2月28日	
研修	3	「個人情報保護」・「契約・ハラスメント」テストの実施	令和3年6月2日～14日	職員全員
	4	JCD 施設事務局研修（マネージャー以上対象）	令和3年6月11日、18日	文化芸術センターにて ZOOM（各日1名）
	5	SDGs 理解度・浸透度測定の実施	令和3年9月28日～10月11日	職員全員
	6	A M部令和3年度上期コンプライアンス Web 研修	令和3年10月2日～24日	職員全員
	7	自主事業研修	令和3年10月3日	三田市郷の音ホールにて2名
	8	自主事業研修	令和3年10月8日	京都市呉竹文化センターにて1名
	9	「個人情報保護運用」「各種業務（知財権）」チェックシート実施	令和3年10月11日～22日	職員全員
	10	自主事業研修	令和3年10月17日	大阪市立こども文化センターにて1名
	11	施設職員フォローアップ研修（2・3年職員対象）	令和3年12月16日	文化芸術センターにて ZOOM（1名）
	12	令和3年度「JTB GROUP CODE」行動規範・ITセキュリティー事業関係法令等 Web 試験	令和4年1月5日～20日	職員3名
	13	「個人情報保護」・「コンプライアンス」小テストの実施	令和4年1月26日～2月9日	職員全員
	14	JCD 施設事務局研修（マネージャー以上対象）	令和4年2月10日	文化芸術センターにて2名
	15	豊中市『SDGs×公民学連携フォーラム』に出席	令和4年3月10日	文化芸術センターにて1名
■伝統芸能館				
安全	1	消防訓練	令和3年11月18日	伝統芸能館
	2		令和4年2月15日	石塚会館と合同実施
研修	3	JCD 施設事務局研修	令和3年6月1日	文化芸術センターにて ZOOM（1名）
	4	「個人情報保護」「コンプライアンス」研修、小テストの実施	令和3年6月3日～10日	職員全員
	5	JCD 施設事務局研修	令和3年6月18日	文化芸術センターにて ZOOM（1名）

研 修	6	A M部令和３年度コンプライアンス Web 研修	令和３年 10 月 2 日 ～24 日	職員全員
	7	SDGs 理解度・浸透度測定の実施	令和３年 9 月 28 日 ～10 月 11 日	職員全員
	8	「個人情報保護運用チェックシート」「各種業務（知財権）チェックシート」実施	令和３年 10 月 8 日 ～22 日	職員全員
	9	施設職員フォローアップ研修	令和３年 12 月 16 日	文化芸術センターにて ZOOM（1 名）
	10	令和３年度「JTB GROUP CODE」Web 試験	令和４年 1 月 5 日～ 20 日	職員 3 名
	11	「個人情報保護」・「コンプライアンス」研修・小テストの実施	令和４年 1 月 26 日 ～2 月 9 日	職員全員

7. 収支報告書

令和3年度（2021年度）豊中市市民ホール等 収支報告書

【収入の部】				
(単位:円 税込)				
費 目	予算額(A)	決算額(B)	差額(B)－(A)	備 考
指定管理料	414,514,000	414,514,200	△ 200	
利用料金(文芸・ローズ)	111,490,000	95,215,732	△ 16,274,268	施設利用料金、付帯設備利用料金
利用料金(伝統芸能館)				
利用料金(市民ギャラリー)				
文芸センター駐車場料金収入	13,800,000	7,958,710	△ 5,841,290	
自主事業収入	29,150,000	22,383,328	△ 6,766,672	チケット収入、助成金収入 等
友の会会費収入	1,700,000	1,075,500	△ 624,500	年会費収入
その他収入	1,200,000	523,303	△ 676,697	チケット郵送手数料、コピー代 等
収入合計	571,854,000	541,670,773	△ 30,183,227	

【支出の部】				
費 目	予算額(A)	決算額(B)	差額(B)－(A)	備 考
人件費	182,972,000	182,972,000	0	給与、手当、通勤費、社会保険料、福利厚生費 等
物件費(事業費)	58,800,000	50,020,301	△ 8,779,699	出演料及び委託料、宣伝印刷費、会場費 等
物件費(施設維持管理経費)	光熱水費(文芸)	44,500,000	40,263,563	△ 4,236,437
	光熱水費(アクア)	7,567,000	2,840,616	△ 4,726,384
	光熱水費(ローズ)	6,420,000	6,734,557	314,557
	光熱水費(伝統芸能館)	2,000,000	426,810	△ 1,573,190
	光熱水費(市民ギャラリー)	960,000	418,423	△ 541,577
	修繕費	10,000,000	9,972,275	△ 27,725 ※精算対象(清算の部参照)
	備品購入費	1,000,000	864,279	△ 135,721 ※精算対象(清算の部参照)
	設備・警備・清掃管理業務費	113,489,000	115,967,218	2,478,218 臨時警備費、廃棄物処理費、アクア維持管理費(按分)含む
	市民ギャラリー共益費	1,173,000	1,173,132	132
	ローズ維持管理費(按分)	14,460,000	13,173,600	△ 1,286,400
	コミュニケーションロビー運営費	2,000,000	1,273,792	△ 726,208 共用部備品購入費・行政財産使用料
	舞台操作・保守管理費	100,588,000	100,588,400	400
物件費(施設維持管理経費 計)	304,157,000	293,696,665	△ 10,460,335	
物件費(事務経費)	旅費交通費	1,320,000	413,384	△ 906,616
	会議費	132,000	0	△ 132,000
	消耗品費	3,960,000	5,568,715	1,608,715 一般管球、消耗品 等
	印刷製本費	2,376,000	2,169,937	△ 206,063 各種用紙、催事案内、コピー代 等
	通信運搬費	2,640,000	2,893,655	253,655 電話、インターネット、郵送代 等
	広告宣伝費	6,600,000	5,557,633	△ 1,042,367 情報紙、ホームページ運営費 等
	使用料及び賃借料	6,983,000	5,308,036	△ 1,674,964 コピー複合機、パソコン、チケットシステム 等
	事務備品費	264,000	1,085,038	821,038 アクア備品 等
	保険料	1,200,000	1,157,570	△ 42,430 施設賠償責任保険、興業中止保険 等
	燃料費	66,000	33,569	△ 32,431
	負担金	120,000	126,800	6,800 公文協会費
	手数料	132,000	547,479	415,479 金融機関手数料 決済手数料
	公租公課	132,000	99,950	△ 32,050 収入印紙
物件費(事務経費 計)	25,925,000	24,961,766	△ 963,234	
支出合計	571,854,000	551,650,732	△ 20,203,268	
収 支	0	▲ 9,979,959		

【精算の部】				
項目	予算額(A)	決算額(B)	差額(B)－(A)	備 考
【戻入】豊中市への精算金	0	-135,721		備品費良化分
【戻入】豊中市への精算金	0	-27,725		修繕費良化分
【戻入】豊中市への精算金	0	-3,856,141		学校減免利用補助金良化分
【戻入】ローズ保守点検未実施分戻入	0	-269,487		庄内体育館指定管理者の保守点検未実施分
【補填】利用料金還付相当額	0	14,229,557		新型コロナウイルスに起因するキャンセル
収 支	0	9,940,483		

(参考) 利用料金収入月別一覧 (令和3年4月～令和4年3月)

(単位: 円 税込)

施設名/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
文化芸術センター	5,437,807	272,267	3,985,537	8,996,170	8,031,738	6,381,502
ローズ文化ホール	816,310	76,747	414,436	1,477,206	1,543,356	668,637
伝統芸能館	56,920	0	24,900	118,680	189,680	152,580
市民ギャラリー	0	0	120,000	120,000	224,000	340,000
小 計	6,311,037	349,014	4,544,873	10,712,056	9,988,774	7,542,719

施設名/月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
文化芸術センター	7,254,709	6,636,002	6,590,319	8,434,970	7,855,044	9,052,753	78,928,818
ローズ文化ホール	1,014,665	981,395	1,404,365	961,336	1,262,775	1,187,726	11,808,954
伝統芸能館	189,960	177,760	133,440	113,280	211,540	161,220	1,529,960
市民ギャラリー	420,000	420,000	460,000	280,000	384,000	180,000	2,948,000
小 計	8,879,334	8,215,157	8,588,124	9,789,586	9,713,359	10,581,699	95,215,732

(参考) 友の会会費収入一覧 (令和3年4月～令和4年3月)

(単位: 円 税込)

友の会会費収入	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合 計
	88,500	22,500	31,500	31,500	10,500	15,000	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
	20,000	54,000	43,500	103,000	473,500	182,000	